



The statistical report of Sakai City

Vol.25

今回の数字

612

作成日：平成 25 年 4 月 24 日
作成元：坂井市役所 企画情報課
TEL:0776-50-3013
FAX:0776-66-4837
MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～坂井市の就業状況 H22 国勢調査結果より～

春です。新年度が始まりました、就職や転職で新しい職業に就かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

国勢調査では、人口や世帯の調査だけではなく、労働や職業などについても調査をしています。これらの調査結果は、「産業等基本集計結果」や「職業等基本集計結果」として公表されています。

今回は、平成 22 年国勢調査の結果から坂井市の就業（労働・職業）に関する数字をご紹介します。

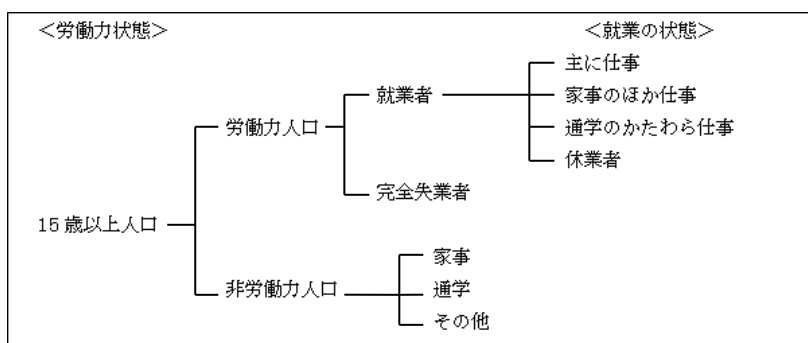
□坂井市の就業者数は、47,112 人

平成 22 年 10 月 1 日を基準日として実施された国勢調査の結果によると、坂井市の 15 歳以上の労働力人口は、49,840 人で、そのうち就業者数は、47,112 人でした。

坂井市の 15 歳以上人口（77,515 人）に占める就業者数の割合（就業率）は、61.8%と、全国（57.3%）および福井県（59.6%）の割合よりも高くなっています。

※労働力状態

「労働力状態」とは、15 歳以上の人について、調査年の 9 月 24 日から 30 日までの 1 週間に「仕事をしたかどうかの別」により、右図のとおり区分したもの



□女性の就業率と共働き率は全国でもトップクラス

福井県は、女性の就業率が 50.9%と全国の都道府県の中でもトップクラス（全国 2 位）です。また共働き率も福井県は全国 1 位（56.8%）でした。

それでは、坂井市の結果はどうでしょうか。夫婦のいる一般世帯での夫婦の就業状況について、全国と福井県との比較をしてみました。

夫婦の就業・非就業別夫婦のいる一般世帯数

（単位：世帯）

	全国	福井県	坂井市
総数 A	29,135,873	178,592	20,675
夫、妻とも就業 B	12,676,196	100,155	12,488
夫が就業、妻が非就業 C	8,507,323	38,482	4,072
夫が非就業、妻が就業 D	1,112,364	7,771	897
夫、妻とも非就業 E	5,628,108	30,071	2,949
共働き率(%) $B / (B + C + D + E)$	45.4	56.8	61.2

資料：平成 22 年国勢調査

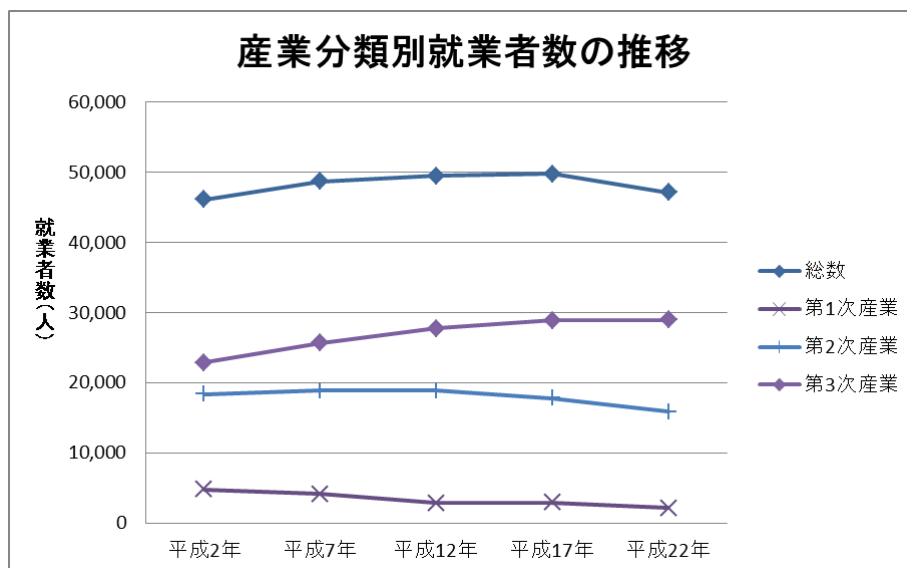
※一般世帯：「総世帯」から老人ホーム等の社会施設の入所者等から成る「施設等の世帯」を除いた世帯

※総数 A には、夫婦の就業状況「不詳」を含む

坂井市では女性の就業率が、53.7%、共働き率も 61.2%と全国でも常に上位を維持している福井県の割合をさらに上回っています。坂井市の女性は働き者だといえるのではないのでしょうか。

□第 3 次産業の就業者数が増加

それでは坂井市に住んでいる人々はどのような産業に就いているのか、その構成には変化がみられるのか、産業 3 分類別の就業者数の推移をグラフにしてみました。



資料：平成 22 年国勢調査

グラフを見てもわかるように、平成 2 年から 20 年間で、農業など第 1 次産業に就いている人数が徐々に低下していることがわかります。平成 2 年調査では第 1 次産業就業者は 4,804 人でしたが、平成 22 年調査では 2,152 人と半分以下になっています。そのうち 60 歳以上の就業者が 1,511 人で約 70%を占めています。坂井市においても若い世代の農林漁業就業者の減少や高齢化が進んでいるようです。

その反面、サービス業など第3次産業に就いている人数は上昇しています。この傾向は坂井市だけではなく、福井県や全国でも同様な結果となっています。

具体的にはどのような産業の就業者数が多いのでしょうか。坂井市の産業大分類別15歳以上就業者数を見てみると、製造業の占める割合が多く、25.13%（11,837人）となっています。続いて卸売業、小売業の16.12%（7,597人）、医療、福祉の11.16%（5,259人）の順になっています。

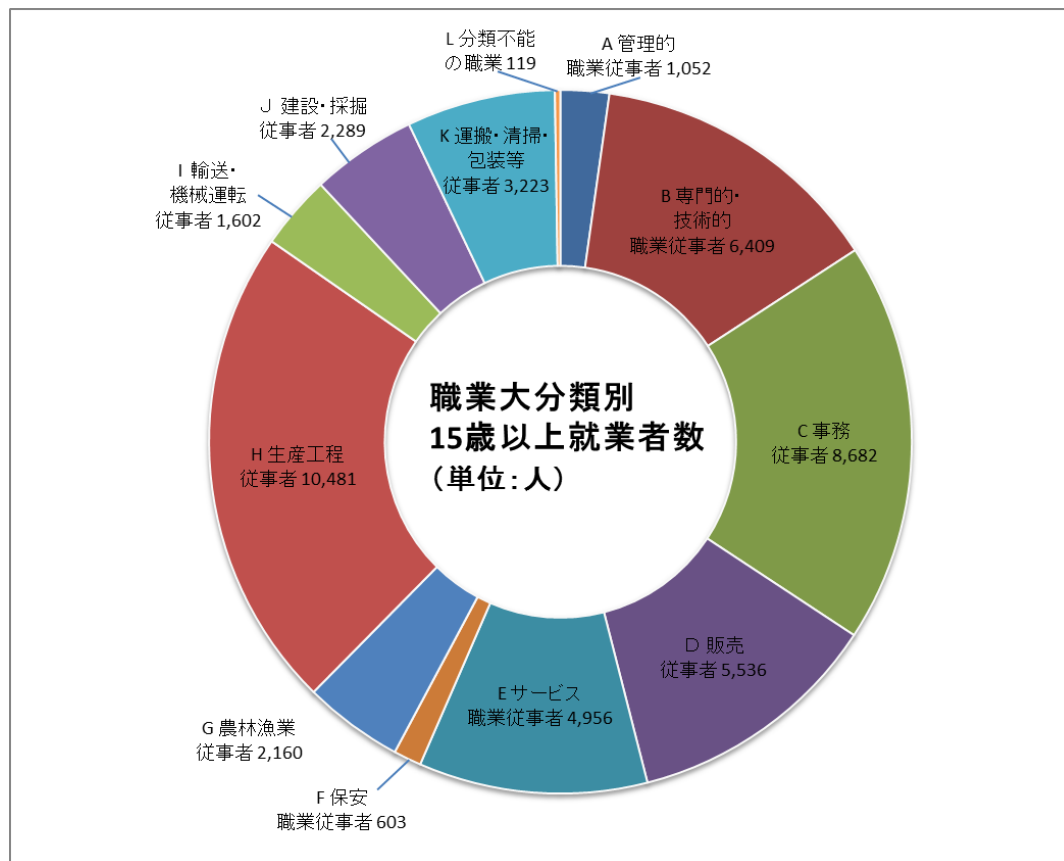
産業大分類別15歳以上就業者数

	総数(人)	就業者総数に占める割合(%)
総数	47,112	100
第1次産業		
農業, 林業	2,031	4.31
漁業	121	0.26
第2次産業		
鉱業, 採石業, 砂利採取業	11	0.02
建設業	4,036	8.57
製造業	11,837	25.13
第3次産業		
電気・ガス・熱供給・水道業	183	0.39
情報通信業	691	1.47
運輸業, 郵便業	2,620	5.56
卸売業, 小売業	7,597	16.12
金融業, 保険業	1,109	2.35
不動産業, 物品賃貸業	357	0.76
学術研究, 専門・技術サービス業	1,084	2.30
宿泊業, 飲食サービス業	2,214	4.70
生活関連サービス業, 娯楽業	1,822	3.87
教育, 学習支援業	1,941	4.12
医療, 福祉	5,259	11.16
複合サービス事業	489	1.04
サービス業 (他に分類されないもの)	2,118	4.49
公務 (他に分類されるものを除く)	1,454	3.09
分類不能の産業	138	0.29

資料：平成22年国勢調査

□職業分類別の就業者数

下の円グラフは、坂井市の就業者がどのような分類の職業についているかをグラフにしたものです。グラフからもわかるように生産工程従事者の割合が 22.2%（10,481 人）、次いで事務従事者が 18.4%（8,682 人）となっています。先ほども紹介しましたが、坂井市では製造業や卸売・小売業の就業者の割合が多く、そのため、生産工程に従事している方の割合も多くなっていると思われます。



資料：平成 22 年国勢調査

職業大分類	職業小分類による凡例
A 管理的職業従事者	管理的公務員、会社役員など
B 専門的・技術的職業従事者	研究者、システムコンサルタント・設計者、医師、保育士、弁護士、教員、記者、画家など
C 事務従事者	庶務・人事事務員、集金人、運輸事務員、パーソナルコンピュータ操作員など
D 販売従事者	小売店主・店長、販売店員、不動産仲介・売買人、医薬品営業職業従事者など
E サービス職業従事者	家政婦(夫)、介護職員、理容師、美容師、調理人、飲食物給仕、旅行・観光案内人など
F 保安職業従事者	自衛官、警察官、海上保安官、看守、消防員、警備員など
G 農林漁業従事者	農耕従事者、植木職、育林従事者、漁労従事者、水産養殖従事者など
H 生産工程従事者	金属プレス従事者、化学製品製造従事者、食料品製造従事者など
I 輸送・機械運転従事者	鉄道運転従事者、自動車運転従事者、船長、船舶機関長、車掌など
J 建設・採掘従事者	鉄筋作業従事者、大工、電線架線・敷設従事者、砂利・砂・粘土採取従事者など
K 運搬・清掃・包装等従事者	郵便・電報外務員、ビル・建物清掃員、包装従事者など
L 分類不能の職業	

今回は、国勢調査の調査結果からみた坂井市の就業についての数字をご紹介しますが、国勢調査の他にも、昨年調査が実施された「就業構造基本調査」や「経済センサス」など就業や産業などについての基幹統計調査があります。これらの調査結果についても順次ご紹介する予定です。

☆ **今回の数字の答え**：61.2% 坂井市の共働き率（夫婦のいる一般世帯：平成 22 年国勢調査）